

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

令和 8年 1月 16日

協議会名:南城市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域公共交通調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と公共交通の現状整理 (既存データによる地域の現状整理、送迎サービス実態調査、路線バス・Nバス乗降調査、人流データの分析) ・交通事業者との対話(座談会の開催) ・既存計画の評価及び公共交通に関する課題の整理 ・優良事例の収集及び視察 ・地域とのコミュニケーション(オープンハウスの開催、ワークショップの開催) ・地域公共交通計画(案)の作成 ・協議会の運営 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存データにより、人口と路線バスの運行状況等の現状分析を実施し、課題把握を行なったほか、乗降調査や人流データによる市民、県民、県外観光客の移動ニーズなどを把握した。 ・交通事業者との座談会(2回開催済み、2月に1回開催予定)により、施策に関する具体的な内容や、次年度以降の進め方等について調整する予定である。 ・既存計画の評価を実施し、計画見直しにおける課題把握、施策の実施状況、目標値の達成状況を整理した。 ・優良事例収集、視察として、山口市の多様な主体が連携しながら地域密着型の施策を推進している事例(地域主体のコミュニティタクシー、グループタクシーなど)、宇部市の利用促進策(サバスク定期券、公共交通すごろくYAMAGUCHI、駅舎アートなど)について視察を行い、今後の地域交通の運用や改善にあたっての参考とした。 ・オープンハウス(4回開催)、ワークショップ(3回開催)により、市民の公共交通に対する問題意識や、意向などを把握でき、課題整理や施策検討に反映した。 ・今後開催する協議会(1月、3月)での検討を経て、南城市地域公共交通計画として取りまとめる予定。 	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>市民、来訪者の移動ニーズと路線バス・Nバスの運行便数に乖離がみられる区間等における見直しの方向性や、市外の交通拠点との接続方法、高齢者、高校生等の移動制約者に配慮したおでかけなんじい及びNバスの継続運行とともに、利便性向上策、利用促進策等の検討を予定している。</p> <p>デマンド交通「おでかけなんじい」については、引き続き、地域内フィーダー系統補助の活用を見込んでいく。</p>